

病院職員の新型コロナウイルス感染者の発生について

(第1報)

令和2年12月15日(火)に当院の2階病棟スタッフ1名が、新型コロナウイルスに感染していることが判明いたしました。本人の同居家族が12月14日に新型コロナウイルス感染が判明し、濃厚接触者となったためPCR検査が行われ、陽性と判明いたしました。最終出勤日は12月14日で、接触のあった患者さんや職員には、現在体調不良者はいない様子ですが、保健所のご指導の下、PCR検査を実施して確認作業中です。

引き続き院内の感染対策を行い、関係者のPCR検査を実施するとともに、万全を期すために、当該職員に関係する部署の消毒の実施に加えて、当面の間、新規入院の受け入れを含め通常の診療対応の一部を制限することと致しました。

今後の対応につきましては、PCR検査の結果などを踏まえ、引き続き保健所のご指導を仰ぎながら、万全を期する所存です。今後は職員の体調不良等の確認を徹底して行い、疑わしい状況があれば出勤を控えるよう徹底して参ります。

皆様方には、ご心配をおかけするとともに、多大なご迷惑をお掛けすることとなり誠に申し訳ございません。深くお詫び申し上げます。

当院では職員一丸となって、皆様の安全、安心な入院・受診に向けて、更なる努力を続けて参りますので、ご理解ご協力をいただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

令和2年12月16日
偕行会リハビリテーション病院
院長 田丸 司